

表46. 平安時代の郡上(豪族・落人経路・神社)

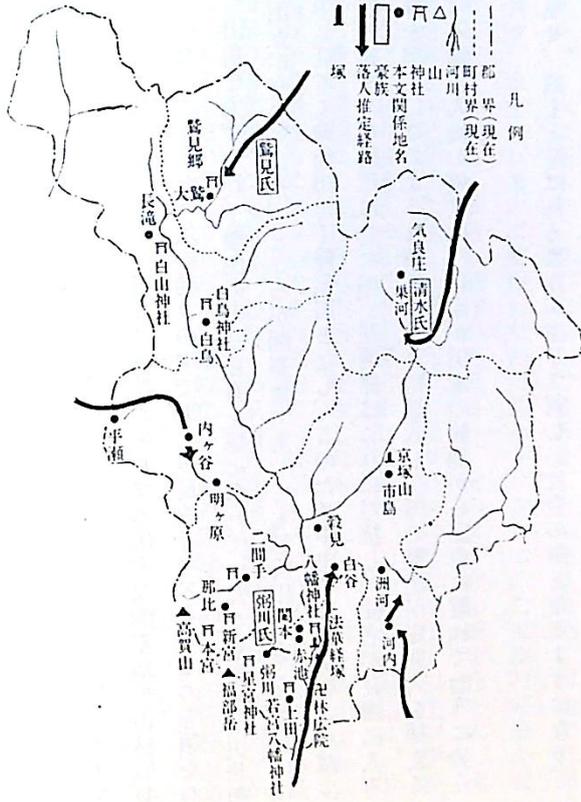


表45. 郡上郡の四郷と文化伝来推定図(奈良時代)

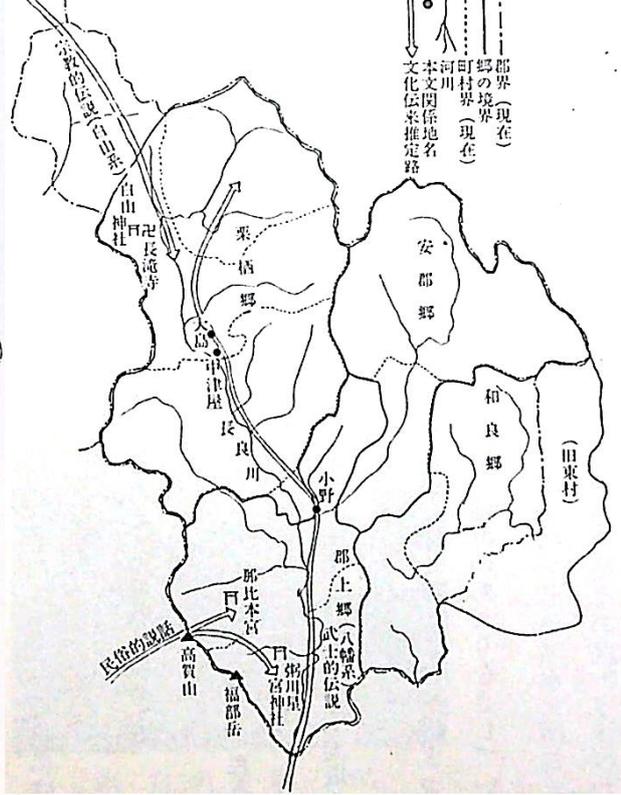
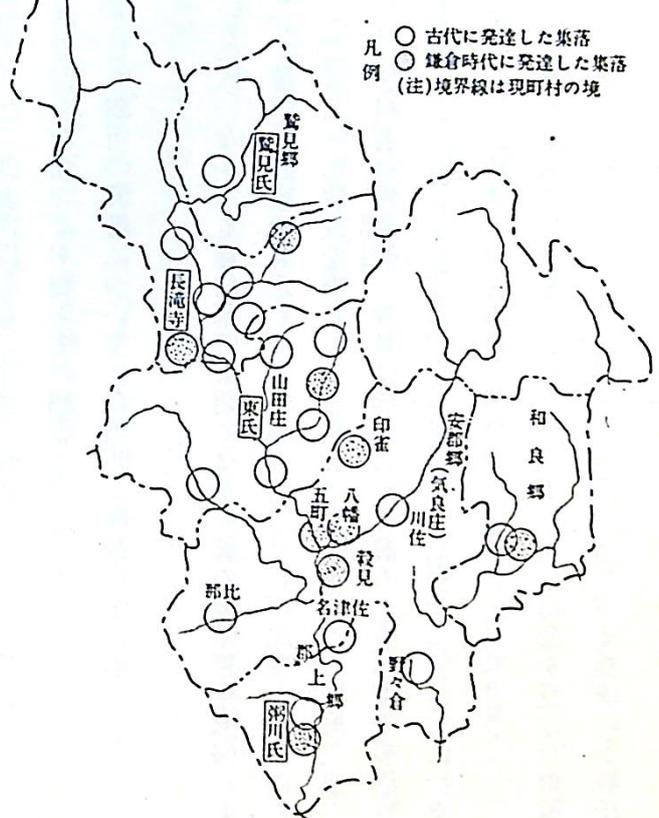


表48. 諸豪と集落



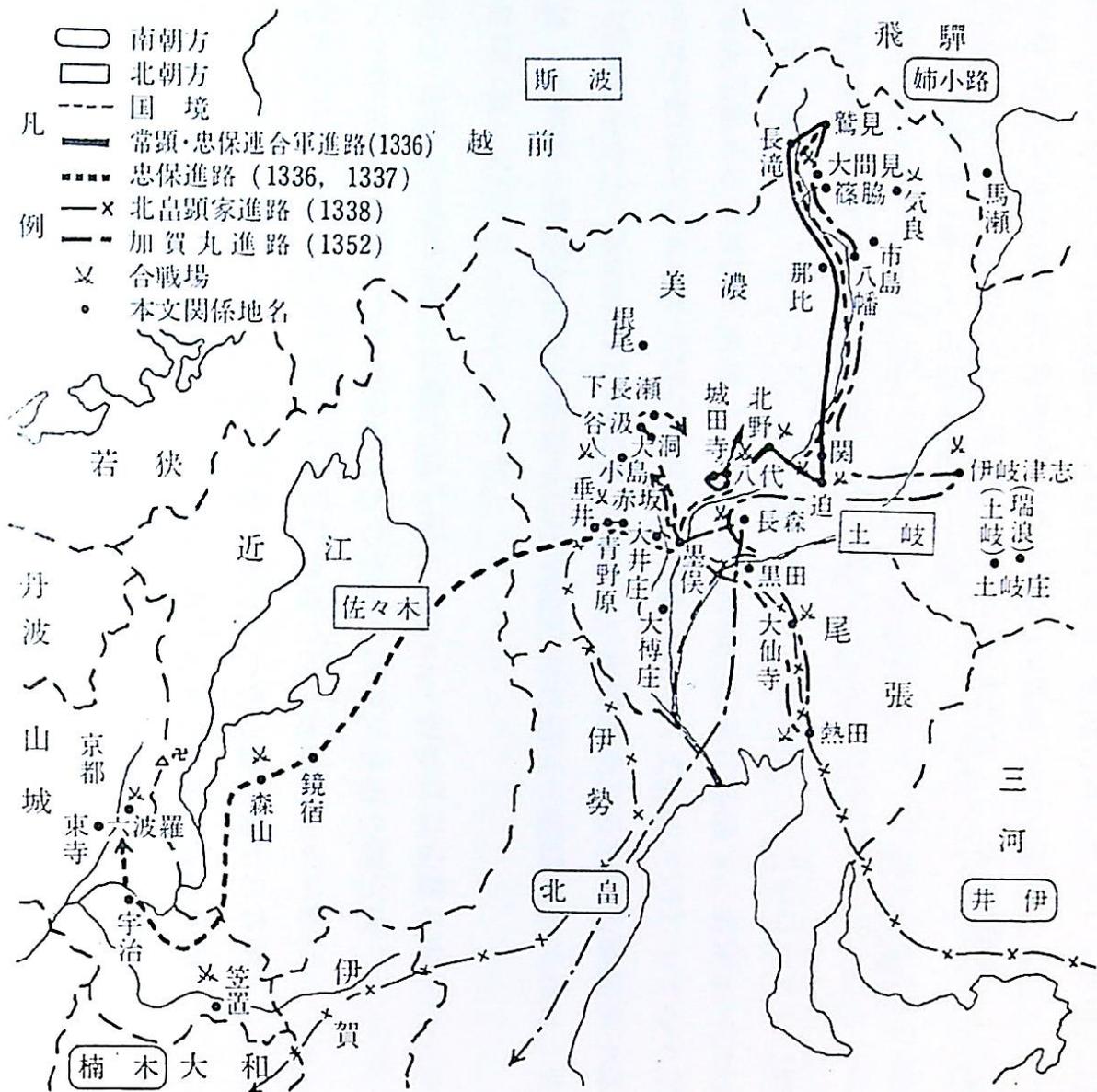
栗栖郷

上保筋全体を総称し、鎌倉時代には北部(石徹白を除く白鳥町と高鷺村)を鷺見郷と呼び、南部(八幡町のうち瀬取・五町・有坂・と大和町)を山田庄と称していた。また、戦国時代の頃まで山田庄の一部を栗栖と呼んでいた。

長滝宝幢坊文書によると

承久三年に北条重時から長龍寺に「和田川以北牛道一円・西前谷以南・河西駿馬天神限油田として寄進せらる」という記事がある。

表50. 東・鷺見両軍進路略図



これは南北朝の内乱で鷺見氏と東氏が足利尊氏方に属して戦った場所を示している。
 これは長善寺文書や鷺見家譜に載っている。